

平成 20 年度 第 3 回 佐世保市図書館協議会 会議録

1. 日 時 平成 20 年 11 月 26 日 (水) 午後 1 時 30 分～
2. 場 所 佐世保市立図書館 4 階 A 会議室
3. 出席者 ○佐世保市図書館協議会委員 (定数 5 名) (出席 5 名)
 - ・学校教育関係者 山本みづほ
 - ・社会教育関係者 小西 宗十
 - ・社会教育関係者 迎 純子
 - ・学識経験者 武富 龍二
 - ・学識経験者 山口夕妃子○事務局 (出席 6 名)
 - ・図書館長 渡辺 恵美
 - ・館長補佐 宮本 純夫
 - ・図書第一係長 豊里 恵子
 - ・図書館主査 大谷麻寿美
 - ・事務員 江口麻由子、加藤由紀子

4. 館長挨拶

5. 論点整理

前回までの内容を集約した答申案について意見を出していただいた。

[A 委員]: “PFI” や “レファレンス” の意味を知らない人が多いと思うので注釈をつけてみてはどうか。もしくはレファレンスを別の日本語に置き換えて表現できないか。適当な日本語がなければやむを得ないが。

[B 委員]: 置き換えた日本語で、別の意味でとられるといけないので注釈で良いのではないか。

[C 委員]: 「選書」や「蔵書の構築」という用語も馴染みがないかも。

[D 委員]: 答申案の最後の項目だけ「～を望む」と記載してあるが、他の項目と同じく「～して欲しい」という表現に統一。

また喫茶コーナーについても、前回までの諮問を受け実現したということで答申案に加えてはどうか。

[C 委員]: 喫茶コーナーに自販機があればいいのだが。多良見町立図書館に紙コップを返したら 10 円をキャッシュバックする機械があった。

図書館内にサークル活動で使える作業スペースがあればいいのだが。サークル活動している人は公民館を借りたりしている。交流の場があればいいのだが。また、生徒や児童の作品展示スペースがあれば保護者が来館するきっかけになるかもしれない。アルカスのように生け花などの展示コーナーがあればいいのだが。3 階ロビーをギャラリーのように使えないだろうか。

[D 委員]: 資料の 1 ページ目に佐世保市立図書館の現状と課題がまとめられている。課題のみで資料費の減に対する答申がない。喫煙スペースの場所を変えたことも加えたほうがよい。

[E 委員]: 予算の話がないが、予算の増をお願いしたい。

[C 委員]: はじめにの表が分かりやすい。その後の文章も表に対応した書き方にしてはどうか。

- [B 委員]：現状と課題に指定管理については書かないほうが良い。課題ではなく、指定管理については NO という答申なので。
- [E 委員]：今の案に予算的な内容を加味する。今現在、職員の頑張りでは続かないので、金も人も増やしてという文言を。
- [B 委員]：人事云々については全庁的なものなので、これ以上は予算を減らさないでという方が良いのでは。合併したのにそれに対応した増額がない。
- [C 委員]：他都市との比較はいりませんか。例えば諫早市は人口 1 人当たりの資料費が突出していると思う。
佐世保市は今まで良い図書館を知らないのです。市長は来館されたことあるんでしょうか。
- [E 委員]：市長にも専門的知識をもってもらわないと。
- [D 委員]：駐車場がもっとあれば。有料でもよいと思う。2～3 時間あれば図書館での用は足りる。最初の 1 時間は無料であとは有料とか。
- [E 委員]：資料の最後に予算増の項目を加える。
- [B 委員]：利用者が少ないから資料費もこれでよいと思われないように作成する。
- [C 委員]：資料の鮮度も大事と伝えてもらいたい。開館当初の蔵書目標 40 万冊を達成したからよいという訳ではない。
- [D 委員]：名作本と新刊本を分けて考えないと。
- [E 委員]：専門別に本の保管場所を確保することも必要かも。
- [C 委員]：調べ学習用の本を倉庫のような所に保管しておき配送するという例もある。
- [A 委員]：図書館独自のアンケートを実施したら、市民の要望が浮かび上がってくると思う。

6. 文言訂正の確認

- ① レファレンスは「お客様の調べ物のお手伝い」という説明にする。
- ② 「自館」という文言を「1 館」のみに訂正。
- ③ 施設・整備の項目に展示コーナーを追加。
- ④ 「市民協働」を「ボランティアの拠点」に改める。